

(参考資料)

① 粗鋼生産量 (JFEスチール)

(単位：万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度 (単独)	771	778	1,549	648	458	1,106	2,655
(連結)	870	858	1,728	703	497	1,200	2,928
平成21年度 (単独)	512	690	1,201	695	687	1,381	2,583
(連結)	572	756	1,328	759	748	1,508	2,835

② 鋼材出荷量 (JFEスチール、単独ベース)

(単位：万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	692	722	1,414	602	490	1,092	2,506
平成21年度	434	628	1,062	620	636	1,256	2,318

③ 鋼材輸出比率 (JFEスチール、単独・金額ベース)

(単位：%)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	41.6	44.9	43.4	39.2	39.7	39.4	41.6
平成21年度	42.3	47.7	45.3	45.4	46.3	45.8	45.6

④ 為替レート

(単位：円/ドル)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	103.4	108.0	105.7	99.2	92.8	96.0	100.8
平成21年度	97.5	94.7	96.1	89.5	90.4	90.0	93.0

ドル収支

(平成21年度実績)：2億ドル/年程度の受取超過

⑤ 鋼材平均価格 (JFEスチール、単独ベース)

(単位：千円/t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	87.6	109.1	98.5	108.8	97.7	103.8	100.8
平成21年度	75.8	67.9	71.1	69.2	69.6	69.4	70.2

⑥ エンジニアリング事業の受注状況 (セグメント間の取引を含む)

受注実績 2,792億円 (前年度比 △15.0%)
受注残高 2,604億円 (前年度比 △8.2%)

⑦ 造船事業の受注状況 (セグメント間の取引を含む)

受注実績 594億円 (前年度比 △41.7%)
受注残高 4,789億円 (前年度比 △32.2%)

⑧ 特別損益の内訳（JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円）

	平成21年度 実績
固定資産売却益	35
投資有価証券売却益	49
減損損失	△ 32
特別退職金	△ 36
合計	16

(*) LSI事業構造改革の実施に伴う退職者に対する特別加算金の支払額等

⑨ 借入金社債等残高および支払金利、現金及び預金残高（JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円）

	借入金社債等残高	支払金利	現金及び預金残高
	年度末	年度	年度末
平成20年度 実績	17,687	△225	2,179
平成21年度 実績	14,684	△194	313

⑩ 設備投資と減価償却費（JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円）

	平成21年度 実績	
設備投資額	2,252	(工事ベース)
減価償却費	2,483	

⑪ 人員推移（JFEホールディングス、連結ベース、単位：人）

平成20年度末	56,547
平成21年度末	53,892

⑫ 経常利益の増減内容（平成21年度実績、対平成20年度実績比較）

- a. 鉄鋼事業 $\Delta 3,802$ 億円（4,125億円→323億円）
- （内容）コスト削減 $+ 1,200$
- 原料関連 $+ 2,900$
- 数量、価格・構成 $\Delta 6,000$
- 棚卸資産評価差 $\Delta 1,370$
- その他 $\Delta 532$
- b. エンジニアリング事業 $+ 34$ 億円（99億円→133億円）
- （内容）売上減に伴う損益の悪化はあったものの、販価改善・変動費削減による粗利改善および固定費削減等により、133億円の経常利益。
- c. 造船事業 $+ 364$ 億円（ $\Delta 149$ 億円→215億円）
- （内容）生産性の向上や資機材のコストダウン等の更なる収益改善の推進による工事損失引当金の減少等により、215億円の経常利益。
- d. 都市開発事業 $+ 19$ 億円（ $\Delta 37$ 億円→ $\Delta 18$ 億円）
- （内容）分譲マンション市況は引き続き低迷しており、改善したものの18億円の経常損失。
- e. LSI事業 $+ 33$ 億円（ $\Delta 42$ 億円→ $\Delta 9$ 億円）
- （内容）引き続き厳しい事業環境の下、固定費削減に努め、33億円改善し9億円の経常損失。

以 上